



萩市
HAGI

議会だより

2013.4.15 No.28

編集/議会だより編集委員会 発行/萩市議会
〒758-8555 萩市江向510 TEL 0838-25-3131



3 月定例会

「はぎおおしま」竣工式 大島保育園児の和太鼓

一般会計予算317億8300万円	2~3	P
常任委員会審査概要	6~8	
一般質問 15人が質問しました	9~13	



5月1日~5日 萩焼まつり



どうすすめる

高齢者社会への対応 防災 減災 萩経済の再生

25年度予算決まる

一般会計 317億8,300万円
 特別会計 192億3,220万円
 企業会計 45億2,660万円

25年度に取り組む主な事業

○明倫小学校整備事業

(14億1306万円)

現在の校舎は、老朽化が進んでいるため、隣接する旧萩商業高校跡地に移転整備します。新築する校舎は、市有林の木材を活用した和風校舎として整備します。



建設中の明倫小学校

○見島小中学校校舎整備事業

(1億4237万円)

耐震性が確保されていない見島小学校校舎と見島中学校校舎を小中学校が併設する校舎へ改修し、児童生徒の安全を確保するとともに教育環境の整備を図ります。

○新規就農総合支援事業 (1518万円)

青年の就農意欲の喚起と、就農後の定着を図るため、所得を確保する給付金を給付します。

○中核的担い手育成支援事業 (1000万円)

地域で中心的に農業を営んでいる個人農家が、規模拡大などにより戦略的発展を志すために必要な、農業用機械等の導入に係る経費の一部を助成します。

○特定農業団体法人化支援事業 (1500万円)

特定農業団体から法人へステップアップし、組織力の強化、経営の安定化、担い手の確保を図る組織に対し支援を行います。

○休日急患診療センター整備事業 (3億9218万円)

休日の一次救急(内科・歯科)を担うため、平成23年度から行ってきた整備事業を引き続き行い10月から診療を開始します。

○地域医療連携支援センター整備事業 (1億2861万円)

地域の医療連携の活動拠点となるセンターの整備を引き続き行い、10月から運営を開始します。

○医師等医療従事者確保対策事業 (9026万円)

不足している医師や看護師、薬剤師など医療従事者を確保するため、開業・就業・就学資金の給付を行います。

○萩・長門清掃一部事務組合負担金事業 (3億7095万円)

新清掃工場(平成27年度供用開始予定)建設に係る施設整備費等を負担します。

○高齢者の生きがいと健康づくり事業 (1250万円)

地区の老人クラブ(単位クラブ数103)に対して、活動費の補助を行います。

○避難所用資機材整備事業 (529万円)

災害発生時の避難者に対応するため、避難所運営に必要な資機材や避難者に提供する非常食(ビスケット・アルファ米:4970食)・飲料水(500ml入り:4970本)等を購入します。

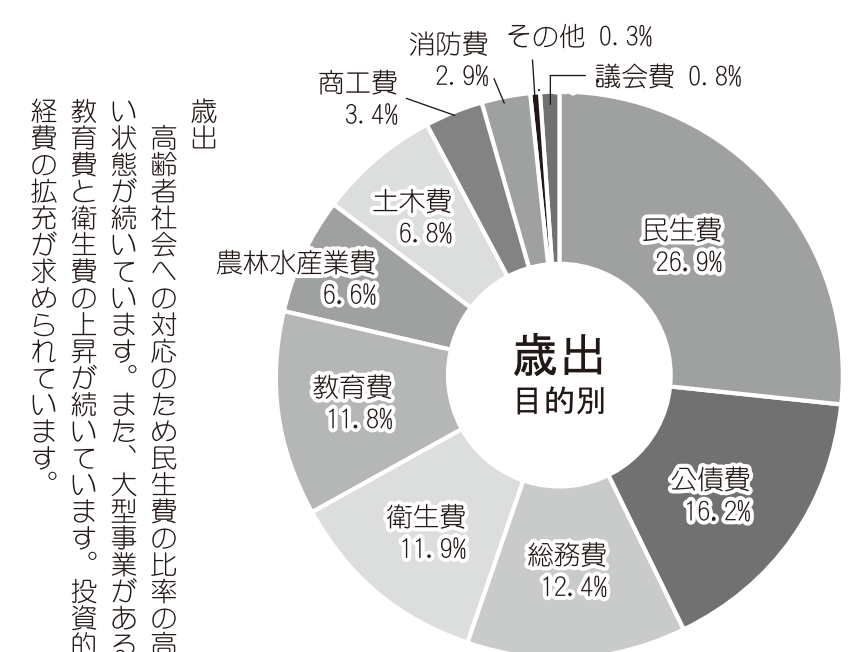
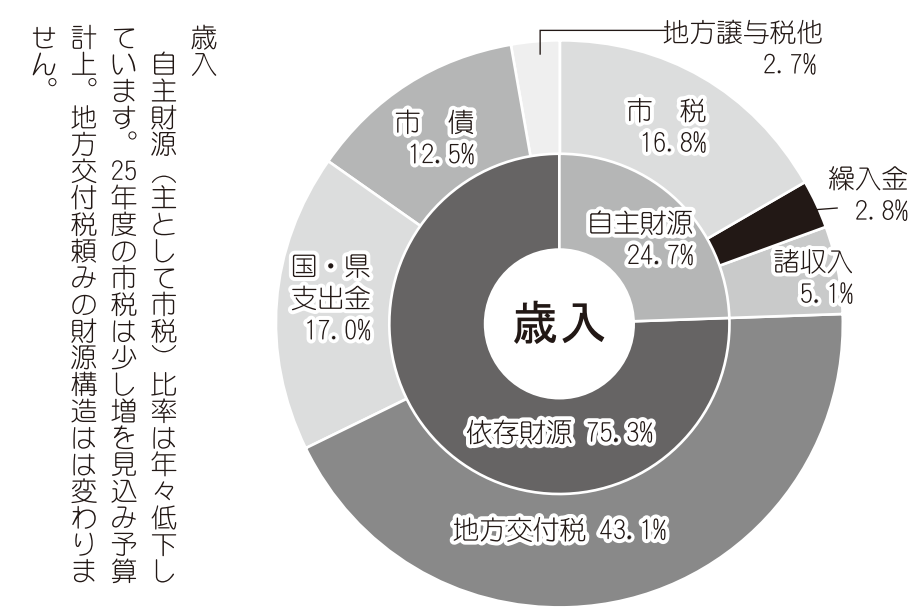
● **経済再生への取り組み**
 農業再生への取り組み継続、新規就農支援、中核的担い手の育成、特定農業団体法人化支援。
 厳しい農業・農村への再生になることを期待。

● **NHK萩ラジオ中継放送所を移転**
 現放送所がある香雪園を整備し、良好な景観形成を図る。

● **大型事業続く**
 ● **学校施設耐震化、27年度完了目指す**
 明倫小学校整備事業25年度で完了。現校舎の保存、活用が課題になっています。
 見島小中学校改修事業は、老朽化したため改築するもので小中学校が併設されます。26年度完了の予定です。

● **医療水準の維持には医療従事者の確保急務**
 休日急患診療センターが10月に完成し診療が開始されます。地域医療連携支援センターも整備され、10月から運営を開始します。医療従事者をどうして確保していくかが、萩市にとって大きな課題です。

25年度一般会計予算



萩市議会3月定例会開会
 平成25年2月19日に招集、3月11日に閉会。25年度一般会計予算他59議案を審議、可決しました。

骨格予算を提案
 3月24日に市長選挙が行われるとして骨格予算を提案。防災・減災・高齢社会への対応、萩経済の再生という行政課題の推進を注視。

平成24年度3月補正予算(第6号)(第7号)の概要

(単位：千円)

	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
第6号	33,680,254	57,477	33,737,731
第7号	33,737,731	2,119,584	35,857,315

歳出予算の主なもの

(単位：千円)

費目	事業名	補正額
【企画費】	◎あなたのふるさと萩応援基金積立事業 萩市を応援してくださる方々から寄せられた寄付金を、萩市発展に資する事業に活用するため、あなたのふるさと萩応援基金に積立てます。 なお、利用目的を指定していただいた寄付金は、指定された事業に活用します。 これまでの活用事例 ・文化財保護や歴史的な街並みの整備 ・公園等の樹木やベンチの整備 ・各地域の図書館・公民館や学校の図書整備等	3,330
【医療対策費】	◎医療従事者研修支援施設整備事業 24年度に研修医や医学生等の研修時の宿泊施設を整備する予定でしたが、県の医療再生基金が使えるよう調整し、25年度に実施することにしたため、事業費の減額を行います。	△61,049
【商工業振興費】	◎まあーるバス運行事業 萩地域椿地区の「福祉複合施設つばき」の供用開始に併せて、施設利用者等の利便性を図るため、施設敷地内に停留所を設置することに伴い、時刻表や音声データ、車内表示の修正を行います。	803
【小学校建設費】	◎佐々並小学校整備事業 佐々並中学校と明木中学校の統合に伴い、使用しなくなる佐々並中学校の校舎を有効活用する観点から、校舎及び屋内運動場の耐震改修等を行い、佐々並小学校として整備します。	230,297
【農業振興施設費】	◎地域連携販売力強化施設整備事業 「むつみ昆虫王国」や「むつみひまわりロード」といった、見所が集中している県道萩津和野線沿いに、農産物の販売や加工品の製造ができる施設およびレストランを併設する施設を整備します。 運営については、地元で起業する女性グループが行います。	93,266
【水産業振興費】	◎広域漁場整備事業負担金事業 近年、沿岸部の藻場は衰退傾向にあり、漁業にも影響を与えています。 その対策として藻礁ブロックを設置し、藻場の造成を行い回復に努めます。	39,417
【道路維持費】	◎除雪車両整備事業 萩市が所有している車両の更新を行います。 ・むつみ地域：4tトラック1台 須佐地域：1.5tトラック1台	19,785

費 目	事 業 名	補正額
【商工業振興施設費】	◎相島多目的広場整備事業 様々な交流活動やイベントを支援するため、拠点となる多目的広場を整備します。(緊急時のヘリの発着場としても利用します)	30,000
【住宅管理費】	◎市営住宅改修事業 老朽化した山田東沖田団地および玉江改良住宅の居住者の、安全確保と建物の延命化を図るため、外壁の落下防止のため改修を行います。	106,260
【公園費】	◎陶芸の村公園整備事業 陶芸の村公園は、萩市地域防災計画において一時避難地として位置づけられているため、最終的に1万人が収容できる広域避難地を目指し、園路・駐車場・広場等の整備を行います。	100,000
【漁港建設費】	◎漁港建設工事負担金事業 山口県が実施する下記工事について、事業費の一部を市が負担します。 ○萩・江崎漁港海岸保全施設整備事業 事業費：9,000万円 負担割合(負担金)：10%(900万円) 事業内容：護岸整備 ○萩・江崎漁港水産基盤ストックマネジメント事業 事業費：1億4800万円 負担割合(負担金)：20%(2960万円) 事業内容：防波堤・護岸・岸壁・物揚場保全工事 ○萩・江崎漁港施設機能強化事業 事業費：6,000万円 負担割合(負担金)：20%(1200万円) 事業内容：防波堤・護岸・岸壁・物揚場耐波・耐震調査	50,600

反対

この予算は、決して骨格予算ではありません。学校耐震化など市民にとって必要なものもありますが、疑問を持つ事業もあります。たとえば陶芸の村公園に1億円、香雪園に1億8千万円があります。公園ばかり作ってどうするのかという市民の声があります。そして、またしても中心部にドンと過疎債が使われ、本当に過疎で苦しんでいる人たちは納得しないでしょ。本当に過疎対策になるのかという本質的な疑問もあります。過疎対策は、中心部に集中し、本当に必要なところに手立てがとられているとはいえません。

経済の活性化が必要です。農林水産業と観光の連携や市民要求に応える事業が求められています。まだまだです。よって反対します。

討 論

平成25年度 萩市一般会計予算について

賛成

平成25年度当初予算は、市長選挙を間近に控え、いわゆる骨格予算として編成されています。

新たな施策や臨時的な事業は、選挙を経た後の新体制で予算化を行うとの方針です。しかし予算規模は317億8300万円と大規模な額となっています。これは学校施設の耐震化事業や新清掃工場建設事業等、大型事業が実施中でもあり致し方ないものであることを確認しています。しかし人口減少は続き、目の前に普通交付税の漸減が始まる時期が迫っています。財政状況は決して楽観できる状況ではないと考えますが、今後も財政規律を守りながら行政サービスの提供が継続できる状況を維持していただきたいと考えます。

常任委員会の審査の概要をお知らせします

総務

実質14ヶ月予算で新市施行後2番目の大型予算に

～市民の安心・安全を守り、地域の活力を生み出す事業を前倒しして実施～

総務委員会には、平成24年度萩市一般会計補正予算(第6号)(第7号)や平成25年度萩市一般会計補正予算(第1号)を含め、14議案が付託され、審査の結果、すべて可決すべきものと決しました。

24年度萩市一般会計補正予算(第6号)(第7号)と25年度の一般会計当初予算を合わせた14ヶ月予算は、326億2613万7千円となり、合併後2番目に大規模な予算になっています。

審査の主な内容は、次の通りです。

○平成25年度萩市土地取得事業特別会計予算

これは、土地開発基金より2億7000万円を繰り入れ、歳入の総額を2億7240万円とし、萩市土地

開発公社に2億7000万円を貸し付けるものです。萩市土地開発公社は、この貸付金でどのような事業を行うのですか。

答 世界遺産登録を目指している恵美須ヶ鼻造船所跡地を調査するため土地の購



恵美須ヶ鼻造船所跡

入をします。問 土地、建物それぞれの金額はいくらですか。

答 土地の買い取り価格が約1億1000万円(坪単価約62000円)で、建物や立木等の移転補償費が約1億6000万円です。

問 対象世帯は何世帯ですか。答 2世帯です。

○損害賠償の額を定めることについて

問 事故の状況は、どうだったのですか。

答 札幌市からの観光客で、桂太郎旧宅を見学中、臀部に「すいばり」がささり、市内の病院で治療を受け札幌に帰りましたが、痛みが引かないため再度治療を受けられました。

損害賠償の額(3万4268円)には、本人が支払われた治療費の実費、移動で使われたタクシー代等が含まれています。

○指定管理者の指定について

これは、萩市駐車場ほか5施設の指定管理者を指定するものです。

問 新堀駐車場は、老朽化が目立ちますが、今後の維持はどうされるのですか。

答 25年度に解体する予定になっています。

問 指定管理者が仕事を再委託していますが、知っていますか。

答 業務の内容によって、シルバー人材センター等に再委託をしていることは知っています。

なお、委員より障害者優

先調達推進法が施行されたので、法の趣旨に鑑み、業務の内容によっては障害者就労支援施設等が受託できるよう、検討してもらいたいとの意見がありました。

○まあーるバス 運行事業

これは「福祉複合施設つばき」の供用開始に伴い、停留所の新設、運行ルートの見直しや時刻表の変更等を行うものです。

問 停留所の設置は、地元住民の要望ですか。

答 地元住民からは特に要望はありませんでした。施設利用者やその家族等の利便性を図るためのものです。



まあーるバス

問 施設前の道路は、カーブになっていますが、停留所を設置する場所はありませんか。

答 安全面を考慮して、施設敷地内に停留所を設置します。

問 市民や地元住民への周知は、どのようにされますか。

答 市民に対しては、市報に2回掲載し、地元住民に対しては、樺地区町内会会長集会で報告を行うと共に、濁洲町内会への説明会を行い周知をはかります。

※14ヶ月予算とは：24年2月と3月の補正予算の2ヶ月分と25年度12ヶ月当初予算をあわせた予算です。

常任委員会の審査の概要をお知らせします

教育 民生

休日急患診療センターが10月から診療開始

教育民生委員会には、平成24年度補正予算に係る2議案と25年度予算に係る6議案、条例改正等7議案、及び追加議案1議案の計16議案が付託され2日間における審査の結果、賛成多数ですべて可決しました。

○平成25年度国民健康保険事業(事業勘定)特別会計予算

問 22・23年度で1人平均1万円の引き上げをし、24年度では2万円の引き上げが行われました。保険料の負担は年々大きくなっていきますが、25年度はどのようになりそうですか。

答 25年度1人あたりの保険料は平均で2千円引き下げとなります。医療給付費は、年々伸びていますが、伸び率は低減傾向にあります。同時に被保険者数は年々減少しています。その結果25年度の保険料の推計は、前年度に比べ引き下げとなりました。

問 保険料は大きな負担となつていきます。引き下げのためには、支出削減すなわち医療費の抑制・削減が必要ですが、どのような取り組みをされますか。

答 特定健康診査事業や人間ドックなど、疾病予防事業の充実には、個別の働きかけによる受診率の引き上げや、レセプトデータへの分析に基づく多受診者への指導、さらには、昨年度から行われているジェネリック医薬品差額通知事業等を実施し縮減を図っていきます。



休日急患診療センター

○平成25年度休日急患診療事業特別会計予算

救急医療体制をはじめとした現在の医療提供体制の

維持を目的に、休日の1次医療を担う診療所として、萩市民病院外来駐車場内に整備する休日急患センターが25年10月から診療を開始します。

問 診療開始までの医師確保対策はどのようになっていますか。

答 新たな医師を確保すべく、山口大学医学部の協力を得ながら、現在努力しています。歯科については、おおむね用途が立っています。

問 医療機器や設備について、医師の意見が反映されていますか。

答 これまで十分に協議し、歯科・医科共に意見が反映されている設備の内容となっています。

○萩市国民健康保険条例の一部を改正する条例

これは、国民健康保険料の賦課について、萩市独自で減免措置を行うことができるように条例を改正するものです。

問 減免に伴う財源はどうなるのですか。

答 保険料の減免を行う場合においては、保険料賦課

総額を変更せずに行いました。したがって非減免者の保険料に転嫁することになります。萩市では、当面独自の減免措置を行う予定はありません。

○平成25年度萩市病院事業会計予算

25年度の業務予定量は、一日平均入院患者数が90人、外来患者数が292人を見込み、また、主な建設改良事業としては、医療機器購入事業等3億1306万円と、病院施設改良事業9794万円を予定。収益的収支については、事業収益27億7261万円に対して、事業費用28億3197万円を見込み、これによる不足額5936万円は未処理欠損金として翌年度に繰り越します。

問 病床利用率、看護師等の人員体制など、病院経営の見通しはどうですか。

答 「医療の質の確保」と「経営の効率化」のバランスを図りつつ、経常黒字を目指して病院経営を行います。

○財産の無償譲渡について

これは、旧椿西小学校跡地内にある旧図書室及び音楽室を、社会福祉法人萩市福祉事業団に無償譲渡するものです。

問 文部科学省の補助金を受けて建築された建物を、社会福祉法人に無償譲渡することに問題はありますか。

答 教育委員会と協議した結果、譲渡することに問題はありませぬ。



旧萩市立椿西小学校図書室

常任委員会の審査の概要をお知らせします

経済建設

4月24日 陶芸の村公園グラウンドゴルフ専用コースオープン

経済建設委員会には、平成25年度萩市簡易水道事業特別会計予算ほか議案25件が付託されました。審査の結果、全て原案のとおり可決すべきものと決しました。

○平成25年度萩市農業集落排水事業特別会計予算

問 下水道使用料が人数による定額制から水量による従量制へ移行することにより、業務体制は、現在の職員体制で可能なのですか。

答 従量制移行後は、検針業務等については、委託の

予定であるため職員に係る業務については特段差異は生じません。

○平成25年度萩市駐車場事業特別会計予算

問 新堀駐車場は、これまでも議論しているとおりに、駐車場施設を解体し平地の駐車場として整備されてはどうか。

答 施設の老朽化が問題となつています。25年度中に解体に要する関連予算を提案します。

○平成25年度萩市水道事業会計予算

問 検針業務等の委託先はどうなのですか。

答 検針は個人委託を予定しています。

○萩市都市公園条例の一部を改正する条例

問 陶芸の村公園グラウンドゴルフ専用コースの利用料が定めてありますが、使用規則は定めていますか。

答 使用規則は別に定めま

す。現在作成中です。

問 使用料の減免基準はあるのですか。

答 条例に添って今後検討してまいります。有料と無料に分けて、市報・ホームページで周知を行います。

問 公認コース(大会専用コース)として、認められるのですか。

答 公認コースとしての認定作業中です。

問 使用料は、どのような基準で決めたのですか。

答 近隣の使用料金を参考



陶芸の村公園グラウンドゴルフ専用コース

に検討したものです。

問 市民の利用者と観光客等の利用者との使用料に差異がありますか。

答 利用者の拡大に向け、差異は考えていません。

○萩市立阿武川歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

問 この条例の改正は、資料館の休日を火曜日とするものですか。

答 案内板は、公園内にあ

るのと聞いていますが、道路側に必要ではありませんか。

答 現状を調査して、検討します。

問 資料館に説明員はいるのですか。またボランティア対応を検討してはいかがですか。

答 これまでは、地元の方で説明を行っています。

なお、委員より来館者が

増えるように今後、取り組んでほしいとの要望もありました。

一般質問

2月25日から27日まで15人の議員が、一般質問を行い、その質問項目の一部を掲載します。



新船「はぎおおしま」
フェリー化に伴う施設
の進捗状況は

長岡肇太郎
(新志クラブ)

【問】大島定期航路の新船就航に際し、進捗状況をお尋ねします。

○船舶の受渡しの時期はいつ頃ですか。また操船訓練等に十分な対応が図られていますか。

○乗船券売り場・待合室・荷捌き所等の進捗状況は。○フェリー化に対しスムーズな荷捌きの視点からフオークリフトやトラック等が必要ですが、準備の状況についてお尋ねします。

【答】新船は、3月20日に引渡しを受け30日までの間、習熟運転が行われる予定となっております。

また待合所・荷捌所については、地元の要望に応える形で整備し、竣工式に向けて着々と工事が進んでいます。

なお、要望のありました雨除け施設は、新年度予算で対応ができるか検討します。流通の効率化による2tフオークリフトや3tトラックについても、竣工式に合うよう三月下旬までに整備する予定です。



はぎおおしま



「むつみ地域」を拠点
に花と緑の名所づくり

中野伸
(新生会)

【問】今から25年前、おつみ村時代に村民総出で、おつみ地域中央に位置する伏馬山に参集し、桜の木千本を植樹し植樹した桜の木には、それぞれ自分の名札をしるし育てて来ました。現在、500〜600本が生き残り、これから迎える4月には訪れる人々の心、体を癒してくれそうです。そのほか、おつみ地域には広瀬の蔵目喜川沿いに50本の桜、長尾の長尾川沿いに50本の桜、高佐上市の蔵目喜川沿いに20本の桜が連続して植樹されています。

萩市花と緑のまちづくり条例の10条に「市長は花と緑の名所づくりの推進に努めなければならない」とあります。おつみ地域を拠点に花と緑の名所づくりに取り組み、市街地に通じる「東の花道」にされてはどうか、市長に伺います。

【答】昭和63年、伏馬山での千本桜の植栽により見事な桜山が誕生しました。こうした先駆的な事例をもとに条例で「花と緑の名所づくり」を掲げ市民や事業者の方々に「花と緑の応援隊」として登録していただき、名所づくり活動を支援していくことにしています。

現在、笠山の椿・梅林園・橋本川や松本川沿いの桜・武家屋敷の夏みかんの花などが多くの人々をもてなしているように、平成版花と緑の名所づくり活動がむつみ地域から全市的に発展するようご協力をお願いいたします。

《他の質問項目》

- ・ 景観対策について
- ・ 安全対策について
- ・ 健康増進について



周辺地域からの一定
割合の職員採用枠を

横山賢治
(無所属)

【問】農業・防災の面から、周辺地域からの職員採用枠が必要ですか。

現在、合併後定員適正化計画により職員数削減が行われています。数年後には周辺部出身の職員が極端に減少し、かつ農家出身の職員の減少により、農業経験のない職員が農政を担当するという現象をさける為に今から、その対策を考えておくべきです。また防災の面からも地域密着可能な職員確保が必要です。ワークシェアリングの手法等をヒントに、一定割合の採用を考えるべきではないですか。

【答】採用試験は成績主義により公平公正に実施しています。

また地域貢献についても指導しています。周辺地域からの職員採用枠の設定については、現状では法的な問題等から困難な状況です。約束できる段階ではありませんが、ひとつの考え方として、今後検討してまいります。



《他の質問項目》

- ・ 合併後8年が経過して



**見島地区公衆トイレ
早期設置と充実を**

佐々木 武夫
(公明党)

【問】宇津、ゆり橋付近にブロック造りの汲み取り式の公衆トイレがあります。しかし、水道設備がなく手洗いができず、掃除も水を汲んでできてきています。水が出るように出来ないものでしょうか。

また本村には、国指定史跡の文化財「ジオコンボ古墳群」があり、観光で訪れる方もいます。また近くには、住民の墓もあるので、水が使えると共にトイレも使える公共の公衆トイレ新設の要望がありますが、早期に対応は出来ないものでしょうか。市長の所見をお尋ねします。

【答】指摘がありましたトイレのわずか30m先には、砂見田キャンプ場の水洗トイレがあり、今は夏の間のみ利用となっています。これを通年で使えるようにすれば汲み取り式トイレの閉鎖が可能となります。県や漁協とも相談し、問題解決に向けて努力します。

また「ジオコンボ古墳群」付近のトイレの新設については、暫定的に簡易なものとするのか、古墳の本格調査を行った上で整備を行うのか、見島の皆さんと相談しながら検討します。



宇津の汲み取り式の公衆トイレ

《その他の質問項目》

- ・障がい者支援対策について
- ・萩市の低炭素化社会に向けての具体策について



集落維持に手立てを

広兼 義烈
(誠風会)

【問】中山間地域の多くの集落は大変厳しい環境下にあります。農林業の衰退・高齢化の進行・後継者不足・農林産物価格の低迷に加え、土地利用や交通条件の不利が重なり集落機能が失われつつあります。このままでは消滅する集落が出る恐れがあります。市内のどこに住んでもあまり不安なく生活できるようにするのが行政の責務と思っております。今後、集落維持にどのように関わっていかれるのかをお尋ねします。

【答】中山間地域の集落では、過疎・高齢化により、祭事などの共同活動が困難となっている集落もあります。

農業の盛んな地域では、農業法人等の営農活動が集落の維持に大きな役割を果たしています。本市では引き続き、集落営農の法人化に対して支援を行うとともに、行政推進員等と連携しながら、ぐるっとバスなど住民の生活に必要な施策を総合的に推進していきます。

行政区の実態

萩市の行政区数	244
うち子供(14才以下)がいない行政区	69



《その他の質問項目》

- ・萩経済の再生について再度問う



選手名を冠にしたスポーツ大会の開催はできませんか

西元 勇
(誠風会)

【問】山口県初のオリンピック選手阿武巖夫選手は、1932年(昭和7年)のロスアンゼルスオリンピック大会で吉岡隆徳・南部忠平選手らと継走して5位入賞を果たしました。大井尋常小学校・萩中学校・慶応大学と陸上ひとすじの同選手が郷土の人々の記憶の中でセピア色化し、消えさることは残念で寂しさを禁じえません。「勝ちを急ぐな」の阿武選手の実績と人となりの永久保存と後継者育成を兼ねた「阿武巖夫杯」の開催についてお尋ねします。

【答】現在、市内の陸上競技大会は、萩城下町マラソン・萩市駅伝競走大会・むつみ縦走駅伝、また萩市陸上競技協会が主催する萩市リレーカーニバル・記録会等、数多くの大会が開催されており、新たに大会を開催することは難しいと思います。

現在、大井地区で開催されている駅伝競走大会に冠をつけるなど、まずは、大井地区の皆さんで盛り上げていただければ支援できることがあると思います。



練習中の阿武巖夫選手

《その他の質問項目》

- ・大井公民館の施設充実等について
- ・大井浦養殖跡地の有効利用と隣接する離岸堤の修復について



バイオマスのエネルギーを活かしたまちづくりは

斉藤 眞治
(新生会)

【問】ゼロ・ミッション構想即ち、市内の産業・事業所から出される廃棄物を、新たな他の分野の原料に活用することで、廃棄物のゼロを目指す構想によるバイオマス事業の取り組みが求められます。

現在、全国で318地区の自治体で、このバイオマスタウン構想が公表されています。バイオマスの種類には、木質・畜産・食品の食物系と動物系が代表的なものといわれています。そこでお尋ねします。

○市の組織の中に、環境・農林水産・商工・観光・企画で構成するプロジェクトを作り、その窓口となるバイオマス政策課の新設は考えられませんか。

○地域の雇用拡大・人材育成・就職促進を新たな事業所が担い、市が理念と構想を作成し、支援するシステムづくりの必要性は考えられませんか。

【答】木質バイオマスのエネルギー活用については、全国でも有数の森林資源を有する木材の集散地では軌道にのっています。多くの自治体では初期投資、木材の集出荷や人件費、供給先等に課題があります。

バイオマス事業の発想はよいと思いますが、まずは森林・林業の再生に向けて最大限努力し、政府のエネルギー政策、全国のバイオマスの動向等を見極めながら、総合政策部において竹資源の有効活用も含めて勉強していきたいと思えます。

《その他の質問項目》

- ・市の職員体制と安心・安全な職場環境づくりについて



高齢者世帯障がい者世帯の生活支援について

中村 洋一
(公明党)

【問】在宅の高齢者世帯や障がい者世帯での身の回りのこと、例えば、窓拭き・部屋の清掃・掃除機かけ・簡単な家具の移動・蛍光灯の取り換えや笠の掃除・庭の花の水やり・柱時計の電池交換・提出書類の代筆などなど、自分ではなかなかできなくなったことを、すみやかに解決したいときの相談窓口がありません。地域の元気な高齢者の皆さんに登録していただき、ボランティア精神で助け合えるような仕組み作りができないものではないでしょうか。

【答】萩市では、地域の支え合い体制づくりを推進するため、地域見守りネットワーク整備事業に取り組んでいます。また社会福祉協議会においても、有償ボランティアによる住民参加型福祉サービス事業が展開されています。

今後、社会福祉協議会とも連携して、こうした公的な生活支援サービスの充実にも努めるとともに、ボランティア団体、民間事業者が実施する生活支援サービスの情報提供も含め、利用者がサービスを選択できる体制を検討していきます。



蛍光灯の取り換え作業

《その他の質問項目》

- ・障害者優先調達推進法について



「命の道」山陰道の早期整備を

荒井 晶雄
(過疎問題を考える会)

【問】山陰道益田・萩間の建設が現実に期待される段階になりました。この段階で、山陰道の沿道近くになると予想される地域の市民の要望を国に届けておくことが必要と考えます。

山陰道へのアクセスの良さが立地条件に大きく影響するので関心があります。

国道191号のバイパスとしての機能も考え、日本海の美しい景色が遠望できるコースが望まれますし、冬季の積雪や凍結の危険を避けることも大事です。

特に、萩の中心部から離れている須佐・田万川の市民にとって、救急車で医療機関に向かう際、早く山陰道に乗ることは大切で生命にもかかわります。そのため国道315号への連絡は必ず実現して欲しいと思います。

このような要望を国に伝え、計画への配慮を期待します。

【答】知事が山陰自動車道の整備を最重要課題と位置付け、国へ早期整備の要望書を提出しています。

今後は、社会資本整備審議会における計画段階評価が重要となります。

道路整備計画につきましては、国土交通省がアクセス・地形等を考慮してルートを選定されると思いますが、萩市としても、より一層の要望活動に取り組んでいきたいと考えています。

市議会におかれましても引き続きご協力をお願いします。



自然エネルギーの開
発でエネルギーを我
等の手に取り戻そう

宮内 欣二
(日本共産党)

【問】脱原発宣言を行う考えはありませんか。自然エネルギーによる発電で、地域経済・農林水産業の活性化につなげてはどうですか。自然エネルギーはどこにでもあります、少しづつしかなく、大企業が独占できません。地元の企業や団体・農林漁家・市民が取り組める中小規模の発電施設に支援し普及してはどうですか。市が実証モデルを設置し市民にデータを示してはどうですか。市内20か所で1000万円の施設をつくって、取り組みを進めてはどうですか。エネルギーを我われの手に取り戻し、地域経済の振興を図る考えはありませんか。

【答】東日本大震災後、地震や津波も起こりうる日本において、原子力発電所のあり方が全国的に問われています。自然エネルギーについて、市内では以前から水力発電が行われ、水力発電認可出力は山口県内の約44%を占めています。また懸案であったメガソーラーの稼働についても民間事業者により調整が行われています。

市としては、今後新たな公共施設を建設する際に、太陽光パネルの設置の検討等自然エネルギーの活用について取り組んでいきます。

《その他の質問項目》

- ・急速に衰退する周辺部への対策をどう考えるか
- ・教育現場から体罰・暴力を一掃する取組みについて



福岡市の風レンズ風車



萩市内の道路維持管理について

世良 眞名夫
(誠風会)

【問】昨年12月に発生した山梨県中央自動車道路笹子トンネルの天板落下事故で9名亡くなられました。現在、全国各地で構造物の老朽化により、更新時期をおかえており、維持管理には多大な費用を要することは言うまでもありません。

この度、大刈トンネルを通勤路としている方より、トンネルの照明が異常に暗くなっているとの申し出に、早速現地に向いて見て歩行者や自転車、バイク等で通行される方が暗いトンネルの中でヒヤッとする場面もありました。萩市としての現状把握と、今後の改修や維持管理計画についてお尋ねします。

【答】大刈トンネルの照明については、国土交通省に連絡し現在、改修されています。

また市内の道路施設の橋梁は、20年後には、築50年を経過するものが半数を超えるため、急速に老朽化が進むことから橋梁点検を行い、計画的に補修工事を行っています。

この度、国の大型補正予算に伴う予算補正により、「道路ストックの総点検」を実施する予定であり、トンネル・道路付属物の点検、道路舗装の路面状況調査を行い、維持管理に対応していきます。

《その他の質問項目》

- ・都市計画について
- ・観光行政について



地域防災拠点施設の耐震化に支援はありますか

木村 靖枝
(政和会)

【問】3・11東日本大震災発生後、防災・減災という言葉がクローズアップされてきました。市民の安全・安心の確保は行政の最大の課題とされています。公共施設は計画的に耐震化されていますが、町内・漁協・農協所有の施設耐震化の状況はどうですか。特に地域の防災拠点施設・避難所に指定されている施設の耐震化は喫緊の課題です。

避難所指定の越ヶ浜の農協所有の建物は、昭和52年に建設され耐震化はされていません。「建築物の耐震改修の促進に関する法律」で3階建以上かつ1000㎡以上の事務所は耐震診断を行い耐震改修を行うよう努めなければなりません。耐震診断に対して、避難所として指定した萩市の支援は受けられますか。

【答】地震の避難場所は、基本的に屋外を使用しますが、平成27年度完了を目的に小中学校施設を最優先に耐震化を進めています。昭和56年以前の大規模建築物(特定建築物)は、耐震化等の努力義務があります。

山口県漁協越ヶ浜支店のように地域の防災拠点である公共的な民間施設の更新で市から何らかの支援措置が可能かは明確にお答えできませんが、今後、津波の避難所に使用するのか等の課題を検討し、所有者としっかり協議したいと思えます。

《その他の質問項目》

- ・道路行政
- ・総務行政(萩市の施策)



明倫小学校校舎を含めた跡地の活用はどうか

西中忍 (過疎問題を考える会)

【問】明倫小学校は現在、平成26年度に旧萩商業跡地へ移転するため、校舎の新築工事が行われています。移転完了後、明倫小学校の校舎を含めた跡地利用は、市の大きな課題です。市長はこの件について各方面で「校舎は4棟とも残す」と発言されています。そこで、この市長の発言は、市としての方向性なのか、また今年1月に開催された懇談会のメンバーは、どのような基準であなたが決定されたのでしょうか。さらに4月より発足する委員会に市長は参加されるのか。以上3点についてお尋ねします。

【答】明倫小学校跡地は、歴史的にも貴重な土地であり、明倫小学校PTAの方々から残してもらいたいとの意見もありましたので、校舎を有効に活用することができないか検討していきたいという趣旨で発言しています。

懇談会のメンバーについては、教育委員会をはじめいろいろな形で相談して決定したものです。跡地の活用は最終的には議会で決定されることから、この懇談会でしっかり議論して方向性を見出し、いきたいと思えます。



明倫小学校



トーフレの地元雇用と地元産業の振興を強く求める

関伸久 (過疎問題を考える会)

【問】先の協定式で大阪市に本社を置くトーフレの萩地域への工場進出が正式に決定しました。創業時90名、最終的には150名もの新規雇用と工場新設の工事等を萩市内の業者が受注する経済効果に大いに期待しています。なにせ萩市の一般会計から約5億3千万円もの予算を使うのです。その効果を強く求めます。しかし同社の社長は、工場の新設は長門市が萩市の業者でと答えたそうです。事実であれば、とんでもない話です。

今回の予算は萩市が単独で拠出するものです。そうであれば、工事の受注は萩市の業者が受けるのが筋です。これを行政として強く求めるべきで、その責務があります。雇用も然り。その履行をどうモントリングしますか。できない場合は、工場進出の期待に湧く今こそ、議論を深めるべきです。

【答】本年1月17日に地域産業の振興と文化の向上に寄与することを目的とした進出協定をトーフレと締結しました。この協定書において「従業員の採用及び確保」と「地元産業の振興」という条項があることから、従業員の地元採用、地元業者への建設工事発注や物資の購入等が可能な限りあると見込まれます。市としても協定の履行をトーフレにしっかりと要請し、見守っていきます。

《その他の質問項目》
・ 中学卒業時の生徒の市外流出を食い止める為には、萩市立の中高一貫校の開設が必要だ



萩市農業の振興にあらゆる施策を総動員しましょう

大村赴夫 (誠風会)

【問】安倍政権は、デフレからの脱却を目指して、あらゆる施策を総動員しています。市場も反応しています。円安・株高・債券高の基調が続いています。時代は動き始めています。縮小均衡の分配政策から国家としての富の創出へと舵が切られました。スピード感があります。隔世の感があります。2月23日未明の日米首脳会談は膠着していたTPP問題に活路を開きました。わが国の立場を宣明して米国の理解を勝ち得ました。凄いことです。わが市の農政の優れたスタッフは危機感を持っています。時間がなにかも認識しています。

市長は首長の立場から、萩市農業の振興に何を思っていますか。市長の熱い気持ちをお伺いします。

【答】TPPについては、なかなか難しい問題です。安倍首相は「聖域はある、これを認めなければ交渉には参加しない」と言える外交交渉能力を持っています。交渉が進めば今まで聖域として扱われたものの範囲が変わってくる可能性があります。こういった時に、国は様々な農業施策を打ち出してくると思われまますので、萩市は、中山間地域の農業を守るといふ観点で、色々な用意をしていかなければならないと思えます。

《その他の質問項目》
・ 150th Anni. について
・ 教育について

主要道路整備促進調査特別委員会の活動状況

3月14日 地域高規格道路小郡萩間未整備区間の事業計画について地元県議会議員と意見交換会を開催

山口県の平成25年度当初予算概要に計上された、地域高規格道路小郡萩間の未整備区間（絵堂～萩間）の事業計画について議論を行ないました。

この事業計画は、絵堂～萩間（15km）の未整備区間の整備について、当面絵堂～明木までをバイパス道として整備し、残りの区間（明木～椿間）は、既存の国道262号と萩秋芳線（旧有料道路）を使用するというものです。

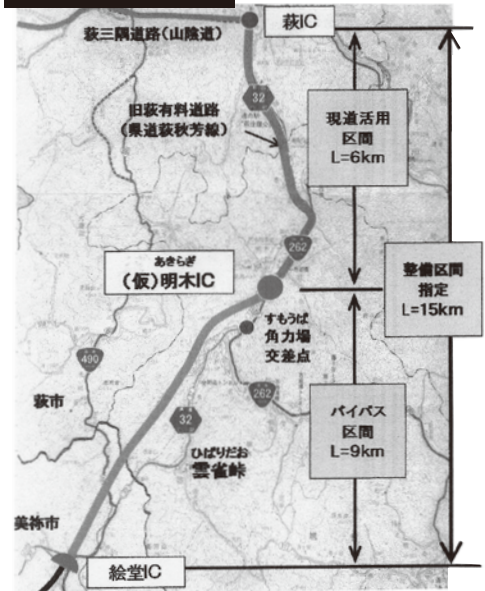
道路特別委員会は、ミッシングリンク（繋がっていない道路）の解消への取り組みを続けています。今回の事業計画に加え、地域高規格道路小郡萩間の全線の開通に向け、地元県議会議員との引き続き連携した各種の要請を続けることを確認しました。

併せて、この道路が山陰自動車道の益田萩間への連結となる要請も行ないます。

今後の活動は、山口県・山口県議会への要請に加え、国交省及び関係国会議員への要請を行ないます。

ミッシングリンクの解消が地域経済の振興や災害への対応策に繋がると考えています。市民の皆さんもご支援ください。

【絵堂～萩間整備方針】



産廃処分場建設問題調査特別委員会の活動状況

産廃処分場建設反対総決起集会

日時 4月20日(土) 9時30分

会場 萩市民館大ホール

- 一部 小中学生の環境問題作文発表
- 二部 ・市議会特別委員会活動報告
- ・参加団体決意表明
- ・集会決議
- ・市内デモ行進



3月4日「萩・福栄水と命を守る会」との懇話会を開催

- ・最初は協力的だった市民の募金協力も薄らぎ、高齢化や認識の低下などにより、運動そのものが曲がり角にきている。
- ・産廃処分場建設反対運動の盛り上げへの課題、また産廃施設が建設されれば被害を直接受ける市民の方々に本気で取り組んでもらいたい。
- ・産廃建設業者が建設を断念するまで、反対運動は親から子へ受け継ぎ続けることが必要である。

特別委員会

水と命を守る会との懇話会終了後、課題、問題点など協議し次のような意見が出された。

- ・したたかな産廃建設業者に弱みを見せることなく、対抗し続けることが大事だ。
- ・産業廃棄物処理場建設については民間に任すべきでなく行政や県が取り組むべきだ。
- ・萩市の173haという広大な土地を双方が、納得し妥協でき有効利用に道を拓く方法はないか。

2月22日 全員協議会が開催されました

[執行部からの説明]

～子どもの読書ばなれ防止のために～

○萩市子ども読書活動推進計画(平成25年度から29年度)

子ども読書活動推進のため、図書館の活動・支援、学校・保育所・幼稚園等の活動、地域の人々の役割と期待、市民の読書活動への行政の支援と方向性を定めた内容。

～疾病予防と医療費削減のために～

○第二期萩市特定健康診査等実施計画の概要(平成25年度から29年度)

医療費の推移や疾病原因等の現状分析等を行い、生活習慣病の更なる予防対策を推進し、特定健康診査及び特定保健指導の実施率の向上を図り、将来的な医療費の適正化を図る内容。

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目 標 値	特定健康診断の実施率	30%	40%	50%	55%	60%
	特定保健指導の実施率	20%	30%	40%	50%	60%
	メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少	21%	22%	23%	24%	25%

～萩市初の軽費老人ホーム運営開始～

○福祉複合施設「つばき」が完成(平成25年3月1日開設)

老朽化した萩市救護所・養護老人ホーム萩指月園の移転新築と介護度が軽度・中度の方を対象としたケアハウス50床を新設した福祉複合施設の施設概要。

～萩医療圏の再生を目指して～

○萩地域医療再生計画(平成23年度から25年度の事業説明)

地域医療再生計画における休日急患診療センター整備事業、地域医療連携支援センター整備事業、医師等医療従事者確保対策事業、地域医療連携情報システム構築事業、医療従事者研修宿泊施設整備事業等の概要。

○萩市民病院改革プラン平成23年度分点検・評価結果の報告

公立病院改革ガイドラインに基づき、平成23年度の患者数(入院患者含む)病床利用率、医療収益・医療外収益等の目標数値との比較を行なった評価の内容。

[その他の項目]

○政務活動費について

萩市議会政務活動費の交付に関する条例の規定による収支報告書の様式の説明。

○萩市歯科医師会との懇談会について

萩市議会議員と萩市歯科医師会の役員との懇談会の開催。(平成25年2月28日)

萩市議会主催の講演会を開催

開催日時 平成25年4月20日(土) 午後3時30分開始(午後3時開場)

会場 山口福祉文化大学内101号会館(萩市椿東浦田)

市民の皆様、ふるってご参加ください

演 題 ローマ法王に地元米が献上されるまで

～萩市の一次生産品からトップランドを生み出す～

講 師 高野 誠 鮮 氏 (たかのじょうせん)

石川県羽咋市役所農林水産課ふるさと振興係(課長補佐)

内 容 羽咋市神子原(みこはら)地区(限界集落)で地域資源を生かしたまちづくりとして1.5次産業化に取り組み、地元米の「神子米」をローマ法王に献上した体験と第一次産業の自立・自活の実践例の講演会を行ないます。



田万川
地域

消防実地訓練



川上
地域

走ろう大会



萩
地域

しろうおまつり



須佐
地域

須佐公民館スケート教室



むつみ
地域

住民福祉講座



旭
地域

旭矢野大和講演会 笑って元気



福栄
地域

ハピネスふくえ 節分祭

の筋道を通し聞き手の納得を引き出す上で欠くことのできない条件であるとも言われています。いずれの場合でも、その場に合った新鮮なお話があれば、どんなに楽しいことだろう…。まずは、日々の体験や人の話をよく聞き、研鑽に努め話し上手になりたい今日この頃です。

西島 孝一

つれづれなるままに



このように話の内容を整え、話し手が三度強調される形をとる構成の仕方が、特に話し言葉において有効であると言われていています。

最後の段でもう一度主題を繰り返すという手法であるように、言われています。

主題が三度強調される形をとる構成の仕方が、特に話し言葉において有効であると言われていています。

話し上手
会合や祝賀会において、上手に話をまとめ、聞く方に分かりやすく話される方を見ると、尊敬に値しますし、羨ましくも思います。話の進め方、構成で最も特徴的なことは、その多くが三段構成となっている。

一段で主題を端的に示し、二段でそれを具体化し、最後の段でもう一度主題を繰り返すという手法であるように、言われています。

編集後記

大島航路のフェリー「はぎおおしま」が4月1日に就航しました。

3月31日に萩商港で安全祈願祭後大島に向けて出航。大島港で待合所の完成式も併せ祝賀会が開かれ岸壁では地区の皆さんが準備された餅まきが行われました。老若男女多くの地区の皆さんが参加され、フェリー就航の喜びを地域全体で待ち望み、喜んで居られる気持ちがひしひしと伝わってきました。離島故に強いられる不自由・不便さが少しでも解消できればと他事乍ら感じたところです。船には、最新の造船技術が駆使されて、乗り心地は最高でした。白い船体中央の「市章」が誇らしげに一段と大きく輝いていたのが印象的でした。

議会だより編集委員会

- 委員長 木村 靖枝
- 副委員長 広兼 義烈
- 委員 齊藤 眞治
- 佐々木 武夫
- 長岡 肇太郎
- 西島 孝一
- 西中 忍
- 平田 啓一